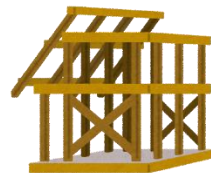


(一財) 日本建築総合試験所本部にある 「CLT 遮音実験棟」の見学を実施しました!!

日本複合・防音床材工業会では、資材流通委員会主催で工業会の正・賛助会員を対象に各会員様の事業経営の参考となるべく、各種見学会を企画・開催しております。



昨年度はコロナ禍の影響により資材流通委員会の活動が休止していましたが、今回は(一社)日本 CLT 協会と(一財)日本建築総合試験所のご協力により開催が実現いたしました。

- 日時：第1回見学 10月15日(金) / 第2回見学 11月12日(金) (両日とも14:00~16:00)
- 場所：(一財)日本建築総合試験所 本部 「CLT 遮音実験棟」 大阪府吹田市藤白台5-8-1 TEL:06-6872-0391
- 見学者：計46名 (第1回 22名 / 第2回 24名)
- 条件：工業会の正会員及び賛助会員 (見学は無料、現地集合・現地解散)



CLT 遮音実験棟は、令和元年度国土交通省サステナブル建築物等支援事業(木造先端型)木造実験棟として採択され、(一社)日本 CLT 協会が(一財)日本建築総合試験所の協力を得て建設されました。実建物を模した CLT パネル工法による遮音実験専用の実験棟です。

「CLT 遮音実験棟」

集合住宅の居室を模した実大サイズの2階建て遮音実験棟です。A室(4M x 5M)とB室(4M x 5M)の2室があり、A室ではさまざまな内装の仕上げ材を変更させ、B室では構造躯体(建築構造を支える骨組み等)を変更させて遮音性を測定しています。今後、建築の未来を担う CLT。これまでにない「音」に挑戦している CLT 遮音実験棟です。

CLT とは

CLT とは Cross Laminated Timber (JAS では直交集成板)の略称で、ひき板(ラミナ)を並べた後、縦横方向が直交するように積層接着した木質系材料です。厚みのある大きな板であり、建築の構造材の他、土木用材、家具などにも使用されています。日本では2013年12月に製造規格となる JAS (日本農林規格) が制定され、2016年4月に CLT 関連の建築基準法告示が公布・施行されました。これらにより、CLT の一般利用がスタートしています。

座学では、日総試が実施している業務内容や CLT 遮音実験棟での遮音測定データの紹介



CLT 実験棟や試験研究センターでは、タッピングマシンやバングマシンを作動し、床衝撃音試験のデモを体感しました。



10月15日集合写真



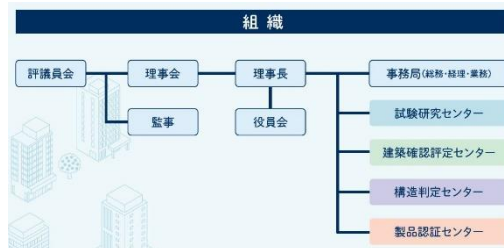
11月12日集合写真

一般財団法人 日本建築総合試験所

General Building Research Corporation of Japan

私たちは、
建築物の試験・研究・
評価・審査等を行う
第三者機関です

(一財)日本建築総合試験所は、建築の質の向上と安全性の確保に貢献している一般財団法人で、公正中立な第三者機関として、高品質で信頼性のある試験・研究、評価、審査、認証等を行い、社会に貢献しています。



※日本複合・防音床材工業会では会員を対象に適宜、展示場や工場見学を実施しています。